

れんごう中越地協

第872号2015.10.11
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定 価 1部10円
購読料は会費に含む



連合中越SJネット委員会主催

特別企画・サマーパーティー

若者に役立つライフ＆マネープランと産別を超えた交流会

8月28日(金)、長岡グランドホテルにて、S Jネットセミナー&サマーパーティーが開催された。「次代を担う青年組合委員・女性組合員向け特別企画」と銘打たれた今回の活動は、連

合中越地協・青年女性委員会(SJネット)としては、初めて取り組む内容であり、参加者などの程度集まるのか、どのような結果になるのか様々な不安があった。

しかし当日は、96名という多くの若手組合員が参加して下さった。まずは、新潟県労働金庫長岡北支店次長代理の高杉氏を講師に迎え、「若者に役立つライフ&マネープラン」とい



うテーマでお話いただいた。結婚や出産など人生の節目が必要になったことなど、ご自身のこれまでのライフイベントや今後の計画に沿って、どのような場面でのどのくらいお金が必要なのか、とてもわかりやすく説明して下さった。そして、「若いうちから、負担にならない程度でよいので貯蓄していくことが大切」と参加者にエールを送っていた。

第2部では、「N A M A R A」所属のお笑い芸人、中村氏と森下氏のお二人をゲストにお招きし、交流会を行なった。これだけたくさんのお手紙が寄せられた。若手組合員が集まる活動は他になかなかなく、大変にぎやかで活気にあふれていた。交流会の中では、中村氏と森下氏の息の合った司会で、テーブル移動が行なわれたり、スイカを実際に食べて値段をあてるクイズも行われたり、大いに盛り上がり、単組や産別の垣根を越えて、交流を深められたのではと思う。

連合中越地域協議会 第13回幹事会

日時 10月16日(金)18:30~
場所 魚沼市内
議題 当面の活動
第25回定期総会議案

第76回地協委員会 今年度の最終委員会

連合中越は、9月25日(金)に第76回地協委員会をアトリウム長岡で開催した。委員会前の午後6時から「マイナンバー制度の該当について」と題して、外山氏(アドリテム司法書士法人代表社員)から講演いただいた。

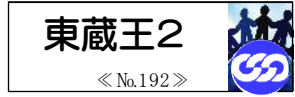
講演では、「マイナンバー」で何が出来るかや個人カード受領に向けて「覚えておきたい4つ」のこと、使い方等について説明された。また、事業者が注意すべきポイントの説明もされ、会場からはマイナンバー代理受



引続き、6時30分からは地協委員会が行われ、矢島議長が政策関係や国政課題等を開会挨拶で述べた。

独フォルクスワーゲン社(VW社)のディーゼルエンジンの排ガス数値改ざん問題でVW社は莫大なリコール費用と社会的信用の失墜を招いた。2012年7月1日号でのコラムで書いた、「欧州ではエコカーの本命はディーゼル車だと言う認識が広がっている」という常識は不正のもとに成り立つシナリオであったかと思ふと残念でならない。また、何よりもそこで働く労働者の今後の雇用の不安が広がっていることに目を向けなければならぬ。以前、流通産業の環境問題のサステイナブル(持続性)な取り組みについて学ぶ機会を求め、米国テネシー州チャタヌーガ市を訪問したことがある。チャタヌーガ市は1960年代金属加工業による公害が深刻化し、アメリカで一番汚い都市と

委員会には、11月2日(木)午後6時30分から開かれた。委員会は、10月3日(土)午前に行う「第19回柿川清掃と歴史探訪の集い」の準備状況やタイムスケジュール、役割等を最終確認した。



議長 矢島良彦

してレットルを張られてしまったが、行政・市民・企業が成功し、1990年代に入り環境に配慮した持続性の高い模範的市民社会として表舞台に再び登場し、1994年チャタヌーガ市は米国で一番住みやすい17都市の一つに選出された。何事も一つの力を合わせ、一つ一つの力の融合が好結果を招く象徴の一つである。そんなチャタヌーガ市が揺れている。VW社のアメリカ拠点であり、販売店は客足が遠のき、VW工場の従業員には雇用不安が広がっている。いつの時代にも不正ははびこるが、トップブランドのフォルクワーゲン社も地に落ちてしまった。経営トップの責任は非常に重い。美しい都市チャタヌーガの行く末を見守りたい。

サラリーマン川柳(会議後の すいがら多し 成果なし)(夢の中 起きる夢見て 遅刻する)(役員会 肩書きなければ 老人会)(錯覚と ムダが支える 化粧品)

サラリーマン川柳(衣がえくるたびふえるきつい服) (毎日を規則正しく不摂生) (松茸はおいしくないよと子に教え) (ストレスの解消法もストレスに)

労使間の問題でお悩みではありませんか?

新潟県労働委員会の委員による

労・働 トラブル 相・談・会



労働委員会の委員が問題解決に向けてアドバイスします。労働者・事業主の皆様からのご相談をお待ちしています。

- 上越** 10月4日(日) 13:30~16:00
ワークパル上越 第2会議室 上越市下門前477番地
- 長岡** 10月18日(日) 13:30~16:00
長岡地域振興局 県民相談室A 長岡市沖田2丁目173番地2
- 新潟** 10月25日(日) 13:30~16:00
新潟県庁16階 新潟県労働委員会 新潟市中央区新光町4番地1

内容 解雇、賃金未払い、退職金、パワハラなどの労使間のトラブル(採用に関するものは、除きます。)
★相談の内容によって、労働委員会の「個別労働関係紛争あっせん」を御案内いたします。詳しくは裏面を御覧ください。

- 相談時間** 1人当たり約30分
- 相談員** 労働関係に豊富な知識、経験がある公益委員(弁護士等)・労働者委員(労働組合役員等)・使用者委員(会社役員等)
- お申込み** 事前にお問い合わせください。予約時間をお知らせします。(当日、会場での申込みも可能ですが、お受けできないことがあります。)

申込みお問い合わせ 新潟県労働委員会事務局(県庁16階) 〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1
TEL 025-280-5546(土・日・祝日を除きます。)
HPアドレス: <http://www.pref.niigata.lg.jp/roudou/>



あした
笑顔
なあれ。

子どもたちは、
私たち大人からの助けを
待っています。

特別チャリティー講演会 夜回り先生からのメッセージ

「がんばらなくていいんだよ。」
Osamu Mizutani

10日町市 2015年10月30日
クロスステン
十日町市宇野7-1-26
開場/18:00 講演/18:30

主催 ろうきん十日町支店地区育成会
共催 (一財)新潟ろうきん福祉財団/夢楽Club
後援 十日町市・十日町市教育委員会・十日町市社会福祉協議会・十日町市・十日町市教育委員会・十日町市・十日町市PTA連合会・NPO市民活動ネットワーク「ひとりとす」

お申し込み・お問い合わせ
ろうきん十日町支店地区育成会(ろうきん十日町支店内)
TEL.025-757-8300

水谷修氏 Profile

上智大学文学部哲学科卒業後、横浜市内にて、長く高級教員として勤務。教員生活のほとんどの時期、生徒指導を担当し、中・高校生との非行・悪行・悪癖・心の問題に関わり、生徒の更生と、非行防止、悪行悪癖の根絶の予防のための活動を積極的に進めている。また、若者たちから「夜回り」と呼ばれている保護者の集まりの/パトロールを通して、多くの若者たちとふれあい、彼らの非行防止と更生に取り組んでいる。

2015秋 ベトナム戦争終結40周年記念/ベトナム枯葉剤爆弾被害者支援

ベトナムアンサンブルチャリティーコンサート

~ベトナムの魂 チンコンソンの世界~
54の民族が織りなす1000年の歴史のハーモニー



国立ボンセン劇場
選抜グループが来日!

ベトナムアンサンブルチャリティーコンサート 2015 長岡公演

2015年 **10月20日(火)** 開場 18:00
開演 18:30

主催: ベトナムアンサンブルチャリティーコンサート 長岡公演実行委員会
【お問い合わせ】 TEL 0258-38-2710(県職労長岡支部内)
協賛: 県職労長岡支部
【コンサート協力券】 2,000円 高校生以下 1,000円

**アオーレ長岡
市民交流ホールA**
TEL 0258-39-2500

ベトナム戦争終結40周年記念/ベトナム"枯葉剤爆弾被害者支援"

ベトナムアンサンブルチャリティーコンサート2015のご案内

- コンサート** 今回協力していただく「民族アンサンブル」はホーチミン市の国立ボンセン劇場選抜の音楽家、舞踊家から構成されたグループです。国家優秀芸術家称号をもつグエン・アナン・タンをはじめ海外公演の経験豊富なメンバーで、JVPFの活動に賛同いただき来日公演を実現しました。人口の90パーセントを占めるキン族をはじめ53もの少数民族を抱えるベトナムの様々な要素が重なり独特の音色を醸し出します。
- ベトナムの魂 吟遊詩人・チンコンソンの世界 (Trinh Cong Son)** ベトナム音楽界の巨匠チンコンソンは、1939年2月28日に、ダクラク省で生まれ、フエで成長、クイニン省師範大学を卒業。卒業後の入隊を拒否し、教師を続けながら生計を立て、1959年から歌の創作を始めました。チンコンソンの音楽は1960年から大衆の支持を受け、特に1967年から1975年の時期、南ベトナムの各地都市の若者たちの愛国運動に大きな影響を与えました。今回も複数のギター演奏家グエン・テ・ビンとの演奏で魂の響きをお届けします。
- 枯葉剤爆弾** 1960年代後半にアメリカ軍によって使用された化学兵器である「枯葉剤」による子ども達への影響は今も拡大しており、各国のボランティアグループも援助の手を差し伸べています。特に両親が被災した子どもへの後遺障害、遺伝子傷害など子孫への影響は予測不可能なほどです。日本でも知られている「ベトナム、ドクちゃん」の事例はほんの氷山の一角です。1960年代後半から1970年代初期のベトナム戦争中、猛毒で発癌性の強いイオキシゲンが大量に含まれる「枯葉剤」の投下された量は7500万リットル、その影響範囲は南ベトナムの4分の1に当たる2万3360平方キロといわれています。1961年の枯葉剤爆弾投下から53年以上を過ぎましたが、今もなお体内に宿り、永続した人体破壊兵器としてベトナム国民を苦しめています。
- 支援** 1996年の開始以来、チャリティーコンサートで作られた基金はベトナム各地の被害者に届けられてきました。1回目の収益金60万円はホアビン村(ハノイにあるリハビリ施設)に届けられ、同所では、1998年からリハビリ通所のための奨学金を実施。1997年はタイビン省の子供救済委員会に、約170万円を寄付。1998年はベトナム南部のタイニン省(ホーチミン市の出口で枯葉剤投下の激しかった場所)の病院へ支援総額1,449,600円。1999年度はベトナム中部のクアンチン省などへ支援し、累計総額は480万円になりました。2001年より、タイビン省でリハビリ施設建設プロジェクトがスタートし、2004年2月に開所。プロジェクトは総額15万米ドル(日本銀80,000ドル、ベトナム銀70,000ドル相当)で、コンサート収益金で約1,100万円をつくりました。その後、リハビリ後の障害者の自立を目指して日本国「障の最良協力」を要請し「障害者職業訓練センター建設」(1,000万円)開所。同所では現在、刺繍総製作などで自立生産作業が行われています。2012年から、北部グワンフック省、南部カントー市、ベンチエ省、ビンホア省、中部ダクラク省、ラムドン省、ビンフック省、タイニン省などで調査・慰問を実施。また埼玉JVPF、広島HVPFも夫々中部のクアンナム省、クアンチン省で支援活動を実施してきています。

2015日本公演プログラム「ベトナムの色彩」(予定)

演奏/ 南部地方の踊り「Dang Dan Cung」	舞踊/ 「Mam Vang」
ソロ/ ベトナム仕様笛演奏/ きすな	ソロ/ ベトナム仕様一弦琴(ダンバウ) 演奏
ソロ/ ベトナム仕様楽器二重奏	ソロ/ ベトナム賛歌
タイグエン地方のメロデー	演奏、歌/ 古部フエの古謡/ 古部の景色
舞踊/ 「椰子の実取り」	舞踊/ 「少数民族チャム族の踊り」
ソロ/ ダン・ダーイ演奏/ 満月	アンサンブル演奏/ 遙かなる高原
ソロ/ クロンブット演奏	ソロ/ 歌/ Tinh Ca
ソロ/ Mua Xuan Den	他、(全17曲)

企画: IFCC国際友好文化センター
東京都新宿区山吹町333 社ビル405
TEL 03-3268-4387
FAX 03-3268-6079

■ 日越友好プロジェクト基金へのご協力は、次の口座にお願いします
中央労働金庫本店(曾)1145118 「国際友好文化センター」
※収支報告・活動案内を致しますので、ご協力の際は必ずご氏名・住所をご一報ください。